

2017年4月から

だれでも食堂^{しょくどう}

はじめます

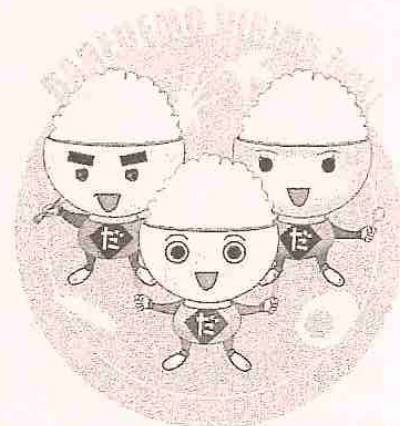
～「だれでも」がつながる地域づくりを～

2016年3月、地域でソーシャルワーカーとして開業している私は、認定NPO 暮らしネット・えんが開いている認知症カフェの依頼を受けて、成年後見制度について皆さんに話をする機会を頂きました。事前の打ち合わせで【カフェ えんの森】をご案内いただいた私は、思わず「ここって、『子ども食堂』を開くのにピッタリですね」とつぶやきました。すると案内してくれていた小島さんが、くるりと振り向き、「私もやりたいと思っていたのよ！」と答え、そこからすべてが始まりました。

ソーシャルワーカーという仕事は、様々な困難や課題に悩んでいる人びとの相談に乗り、解決の方法を共に考える仕事です。お話を聴いていると、この困難の中でよくも懸命に生きていらっしゃる、とこちらが力をもらう場面も少なくありません。一方では、そうした「困った」は個人や家庭の中に閉ざされ、秘められている事も多いものです。しかし、困難な中で生活する人たちは、地域や社会が自分たちに無関心であることに失望を感じていることもあります。そして困難な状況と同じくらい、いやそれ以上、孤独は人を無力にします。

ひとりですらいな、と思った時、ちょっと気の抜ける場所が必要ではないか、そういう場があれば、難しい問題が解決しなくとも、また明日から暮らしていくことができるのではないかと思い、ひとつの「場」としての「食堂」を開設するに至りました。

暮らしネット・えんのこれまでの実践や、ともに話し合ったメンバーの想いをこめて、「子ども」に限定せず、「だれでも食堂」と命名しました。だれでもが気軽に立ち寄れる場所になればと願っています。小島さんとの出会いが、想いを形にするきっかけになりました。だれでも食堂がどうなっていくかまだ誰にもわかりませんが、どうぞよろしくをお願いします。



「だれでも食堂」は毎月最終日曜日 11:00～15:00(食事は12:00から)グループリビングえんの森にて行います。
材料費:こども無料・おとな 300円

斎藤社会福祉士事務所
社会福祉士 斎藤美弥子